

吉野ヶ里町立東脊振小学校

学校教育目標

校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

児童数 357名 No.79

令和3年9月8日 文責 校長 林 寛 ポカもん



先週から子供たちの発育測定が実施されています。4月に計測した身長や体重の数値も順調に増加し、すくすくと成長しています。体重の増加ばかりが気になる私としては、うらやましい限りです。ひと目で背がのびたなあと感じる上級生もたくさんいました。身体の発育と合わせて、体力の向上や心の発達も目に見えてわかる小学生の変化にみんなで気付いていきたいと感じます。

吉野ヶ里遺跡見学 6年生

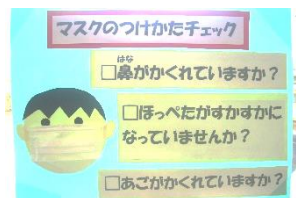
9月3日（金）に6年生が吉野ヶ里遺跡の見学に行きました。朝から強い雨が降っていたため心配したのですが、歴史公園の入り口ゲートをくぐると雨が弱まり、勾玉作りの体験や、遺構や遺物の見学を始めると雨がやみました。広い歴史公園内を貸し切ったようになり、時間をかけてじっくり学習することができました。町内にある歴史公園には、毎年、歓迎遠足で行っていますが、活動する場所は遊具がある弥生の広場が中心です。物見やぐらや主祭殿、保存された北墳丘墓の遺構や展示室には、「初めて入りました」という子が多かったのが意外でした。学校に着くと強い雨が降り出しました。



引き続き 感染症対策を！！

県内の全ての学校で2学期が始まりました。学校が始まったことで、ワクチン接種をしている子供たちの感染を心配する報道もされています。学校では、感染症対策を「強化」と「徹底」しながら進めていきます。朝の検温カードの提出や学習中のマスク着用などにもみんなで取り組むことが大きな意味を持ちます（マスクについては、不織布マスクの使用が感染症対策に最も効果があるということで、佐賀県から1人当たり10枚ずつの配布が決まり、まずは5枚ずつ持ち帰らせています）。校内をまわっていると、ほぼ全員がマスクを着用して授業に参加しています。給食中も前向きで会話をがまんしながら食べるなど子供たちも先生たちと協力して、意識を高めてくれています。

今後も、子供たちの健康管理が感染症対策の根幹になると考えています。本人だけでなく家族の中に風邪などの症状がある場合は、登校を見合わせ、家庭内で様子を見るようにご協力ください。子供たちが学校内で体調が悪くなった場合、連絡をしてお迎えに来てもらっています。お仕事や用事がある方も多いと思いますが、ご協力をお願いします。



タブレットパソコンの持ち帰りをしました。手に取った感じやインターネットにつないだ感じはいかがでしたか？気になることや心配なことがあれば、担任を通してご相談ください。